

# 市民フォト ふくしま夢つうしん

2017 OCTOBER Fukushima YUME-tsushin

福島市  
31号  
2017年 10月

## CONTENTS

- 特集  
2 磐梯朝日国立公園 磐梯吾妻地域 高湯温泉・浄土平
- 文化  
6 写真でたどる福島市の110年
- インフォメーション  
8 スイーツコンテスト2017 元気ふくしまふるさと寄附金



### 生菓子部門

#### 桃の導き

**入賞者コメント**  
モモの柔らかな香りの中に、ツルっとした食感のごんにやくゼリーと深みのあるココナツの風味が良く合います。フランボワーズの酸味が全体の味を引き上げる、最後まで飽きない一品に仕上がりました。

**味戸清晃さん**  
(職)ウェディング エルティ/福島市

#### Ailes de pêche

**入賞者コメント**  
モモの実・皮・果汁の全てを余さず使用。モモ皮を乾燥焼きし、モモの翼に見立てて作った飾りに、農家さんの思いが届けようという意を込めました。モモピューレをベースに焼いた生地にもこだわりました。

**石渡未来さん**  
(東京観光専門学校/東京都豊島区)

#### ヴェリンヌ・ペシュ

**入賞者コメント**  
今はやりのスムージーをストローで飲むようにして、上のパロアを崩して食べても、別々に食べても楽しめる夏っぽくてかわいらしい作品に仕上がりました。

**中川友希さん**  
(郡山ビューホテル(株)/郡山市)

#### ひんやりピーチ

**入賞者コメント**  
風邪を熱を出した時に食べたいと買ってきたモモとゼリーを元に考えた作品です。モモの果肉を閉じ込めたドームゼリーとカップに入った桃のゼリーームスを一緒に食べ、暑い夏を乗り切りましょう。

**岡崎寧乙さん**  
(宮城調理製菓専門学校/宮城県仙台市)

### パウンドケーキ部門

#### 福恵

**入賞者コメント**  
福島の大地の恵みをたくさん取り入れたパウンドケーキを作りたくて素材を探していた時に出会った、セミドライフルーツを使い焼き上げました。食べた瞬間、口の中に福島の大地の恵みが広がります。

**馮 婕さん**  
(日本菓子専門学校/神奈川県川崎市)

#### ぎゅっと桃の宝箱

**入賞者コメント**  
福島産の黄桃と白桃をメインに使用。ドライフルーツとコンフィユールにし、生地にたっぷり入れて焼き上げました。アクセントにカシスの酸味を加え、香ばしく歯切れのいい生地に仕上げました。

**鈴木智子さん**  
(元日本バクテリア/千葉県船橋市)

#### あんこたっぷり! プラムと桑の葉の和パウンド

**入賞者コメント**  
福島産で生産されたプラムを甘酸っぱいジャムにしました。優れた機能を持つ桑の葉入りの生地と甘さ控えめなあんこがプラムの風味を引き立て、緑茶にも紅茶にも合うケーキです!

**栗花夏鈴さん**  
(桜の聖母短期大学/伊達市)

#### Treasure Box ~宝箱~

**入賞者コメント**  
魅力あふれる食材をキュッと詰め込んだケーキに仕上げ、福島市のおいしさをPRできたらという思いで作りました。芳醇な大吟醸の香りが人をひく、ちよっぴり大人のパウンドケーキです。

**澤木 悠さん**  
(桜コムサ/東京都杉並区)

福島市産のモモを使ったスイーツと、福島市産くだものを使った焼き菓子を集めた「ふくしまスイーツコンテスト2017」。全国から312名の応募があり、8月20日に最終審査を実施。「生菓子部門」「パウンドケーキ部門」の2部門で、グランプリなど8点の入賞作品を決定しました。入賞作品は、9月16日に福島市内で開催した「ふくしまスイーツフェスタ」で試作提供・販売したほか、今後事業者による商品化を目指します。

ふくしまスイーツコンテスト2017  
入賞8作品が決定しました



問い合わせ/福島市 農業振興室 ☎024-529-7663

ふくしまのまちづくりを応援!

## 元気ふくしまふるさと寄附金

ふるさと納税

### 福島市のふるさと納税

福島市は、ふるさと納税を「元気ふくしまふるさと寄附金」として、8つの応援メニューでふるさとづくりに活用しています。  
1回につき1万円以上寄附していただいた、福島市外に住居登録がある方を対象に、感謝の気持ちとして返礼品をお贈りします。寄附金額に応じて付与されたポイントを使って、専用カタログや専用ポータルサイトからお好きな返礼品が選べます!  
詳しくは、福島市ホームページをご覧ください。か右記までお問い合わせください。

返礼品は福島の魅力たっぷり100品目以上!

問い合わせ

寄附金・控除に関すること **福島市 市民税課**  
☎024-525-3713(直通) FAX) 024-528-2480

返礼品に関すること **福島市 観光コンベンション推進室**  
☎024-525-3722(直通) FAX) 024-535-1401

詳しくは、ホームページをご覧ください

福島市ホームページ  
http://www.city.fukushima.fukushima.jp/  
shimin-zeisei/kurashi/kifukin/furusatonoze/755.html



## 市民フォト・ふくしま夢通信

平成29年10月1日発行

2017年10月号 No.31

編集発行 福島市役所 広報課

〒960-8601 福島市五老内町3-1  
☎024-525-3710 ☎024-536-9828  
E-mail : kouhou@mail.city.fukushima.fukushima.jp

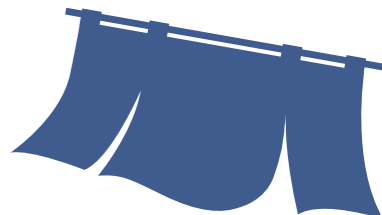
ホームページもご覧ください ▶ <http://www.city.fukushima.fukushima.jp/> **福島市** CLICK

YouTube チューブチャンネル ふくしまチャンネル Twitter ツイッターアカウント fukushimacity Facebook フェイスブックアカウント 福島市

### 表紙紹介

高湯温泉 湯番が守るありのままの温泉

源泉から浴槽まで、加温や加水を一切しない「源泉かけ流し」の高湯温泉。源泉と浴槽の距離も近く、生まれたての温泉成分を堪能していただけます。



# 高湯温泉

自然湧出の「ありのままの温泉」



お客様に「気持ちよかったです 言っていただけのものが 何よりのご褒美です」



共同浴場「あつたか湯」湯番 今野 剛さん



自然のままの湯温管理  
殺菌に培われた

「あつたか湯」貸切露天風呂



1



2



3



4

1/駐車場からも見える高湯温泉共同浴場「あつたか湯」の源泉「高湯26番滝の湯」。湯温50.5℃、湧出量738ℓ/min(自然湧出)、pH値2.7。湧き出たばかりの温泉は無色透明。空気に触れることで白濁の湯になる。同観光協会では、1人から源泉見学会(無料)を受け付けている 2/源泉から分湯箱までをつなぐ湯樋。硫黄泉に強い赤松の木樋を使用。湯樋の中に入れてれんがを置き湯の流れを左右に振りながら「温度低下」「湯もみ」「抜気※2」をしている 3/引湯した源泉を各露天風呂に配湯する分湯箱。湯量の調節もここで行う 4/浴槽近くの湯樋。安全を期し仕切り弁を使ってさらにガス濃度の微調整をしている

※2源泉に含まれるガスの濃度を下げ安全な温泉にすること。



## 高湯温泉が温泉総選挙に エントリー中です

温泉で元気に、温泉を元気に!



投票期間/10月31日(火)まで

1メールアドレスにつき、1日1回投票可!

うるおい日本プロジェクト「温泉総選挙2017」とは、全国の名だたる温泉地のランキングを決定するイベントです。平成28年度は健康増進部門で4位に入賞した高湯温泉が、今年是全国1位を狙います。皆さんの1票をお願いします。

QRコードから簡単に投票できます!

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



2時間に1回のペースで温度を測り目標温度(42~43℃)を保つ

高湯温泉観光協会 ☎024-591-1125

成分を堪能できます。観光だけでなく、近県から療養目的に通われている方が多いのも、お湯の良さを実感していらっしゃるからなのではと思います。春から秋の絶景に魅了される磐梯吾妻スカイラインの行き返りに立ち寄ってみてはいかがでしょうかでしょう。

古くから薬効豊かな湯として知られた硫黄泉で、里人が湯治場として疲れを癒した通った高湯温泉には「一切の鳴り物を禁ず」という暗黙のルールがあり、人々は派手さを戒め、天守の恵みである温泉と自然環境を守り続けてきました。 毎分3,000リットル以上の湯量を誇る9本の源泉は、江戸時代から続く全国でも希少な自然流下で引湯され、加温、加水を一切せず温泉街の各浴槽へそのまま注がれています。平成22年には、東北で初、全国で8番目となる「源泉かけ流し宣言」を行い、400

年続く「ありのままの温泉」をかけ流しで提供していくことを誓いました。9軒の温泉宿と1軒の共同浴場にある計53の温泉浴槽は、現在も全て源泉かけ流しです。 自然の恵みに一切手を加えない配湯法は季節、人数、天候によっても湯加減が左右されるともデリケートな方法です。高湯温泉では、今野さんのような「湯番」と呼ばれる、長年の経験で絶妙に管理調整し、心地よい温泉を届ける専任者がいます。今野さんは「浴槽の温度は入浴人数や天候などで変わるため、温度が低いときは、分湯箱にある湯口を開けてお湯の

※1三味線、太鼓はもちろん、腕相撲も盆踊りも行わないなどのしきたりを遵守しながら古来の湯治場の佇まいを守り続けてきた。

# 天空の楽園 浄土平

想像できない絶景が待っている



鎌沼周辺のワタスゲの群落。湿原に揺れる無数の白い果穂が幻想的な風景を作る

浄土平は、福島市街から車で1時間足らず。磐梯吾妻スカイライン（以下「スカイライン」）のほぼ中間地点にあります。周辺は、火山噴火によって生じた火山礫に覆われていますが、実は高山植物の宝庫で、市街地からは想像できない絶景が待っています。今号では、気軽に行ける天空の楽園「浄土平」周辺の魅力をお届けします。

標高約1,600m。東吾妻山、一切経山、吾妻小富士などに囲まれた浄土平は、桶沼・鎌沼や湿原が点在し、自然探勝路・登山道も整備されているので、気軽に亜高山帯の自然を満喫できます。

スカイラインが通行できる4月上旬から11月中旬までの見どころを、浄土平ビジターセンターの西村真一さんは「群れ咲く高山植物と紅葉です」と話します。6月は梅雨の時期ですが、浄土平は待ちに待った花のシーズン。斜面をピンクに染めるイワカガミに続いてチングルマやワタスゲ・コバイケイソウの群落、7月はシャクナゲのトンネル、8月に入るとエゾオヤマリンドウなど秋の花が咲き出します。浄土平周辺の紅葉の見頃は9月下旬。10月に入るとスカイライン沿線も見頃を迎えます。カーブを曲がるたびに現われる絶景は、何度でも見に行きたくなるほど。ま



浄土平ビジターセンター 副所長  
にしむら しんいち  
西村 真一 さん

浄土平は市街地より約10℃気温が下がるので防寒のために1枚羽織る物があると安心です

「春は残雪でのスノートレッキングを目的に来られるお客様もいますし、夏は極上の星空観察のポイントにもなっています。国立公園のど真ん中まで気軽に来られて、こんなにもアクティブイが多彩にある所ってなかなかないので、浄土平は福島市の宝だと思えます」と西村さん。

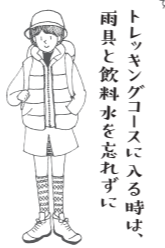
大自然の懐に分け入って一体感を味わいたいときは、トレッキングに出掛けましょう。2時間程度で1周できる鎌沼コースには、吹き寄せる偏西風の影響で風下にしか樹木が伸びない場所のほか、春は氷河が割れ落ちるような雪解けを間近で見られたり、梅雨の時期は花、秋は草紅葉など季節ごとに異なる楽しみが待っています。特に酸ヶ平や姥ヶ原辺りは、樹木が少ないので見晴らしも良く、清々しい気分です歩けます。ぜひ、四季で姿を変える天空の楽園に出掛けてみてはいかがでしょうか。

## 浄土平周辺の高山植物

氷河期の後の温暖化のために高山だけに生き残り独特の進化を遂げた貴重な植物が多く生育しています。

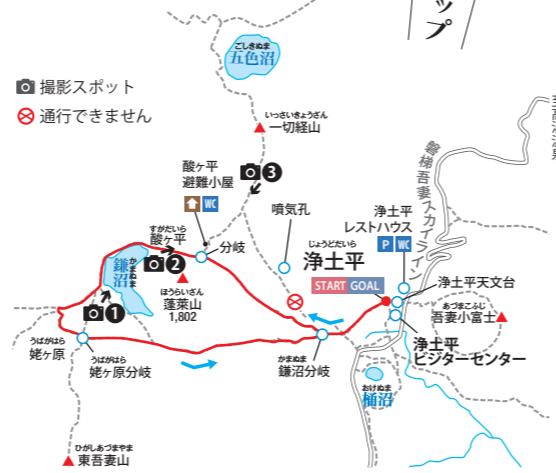


1/一切経山への登山道から残雪の鎌沼を望む。周りは樹木がほとんど無いので見晴らしがいい 2/酸ヶ平避難小屋に続く木道と草紅葉 3/整備された木道が鎌沼へ続き、高低差が少なく歩きやすい。南西の一部は、毎年6月中旬まで残雪がある 4/吾妻小富士から見た浄土平。浄土平ビジターセンターのほか、天文台、レストハウス、広い駐車場(有料)がある



トレッキングコースに入る時は、雨具と飲料水を忘れずに

## 鎌沼コースマップ



コース状況は時期や天候により刻々と変化します。無理な登山は遭難事故やけがにつながりますのでご注意ください。お出掛けの際は、最新の情報をご確認ください。また、バスをご利用の場合は、運行時刻にご留意ください。酸ヶ平避難小屋の公衆トイレはチップ制(協力金)。100円程度のチップを用意しましょう。



まずはビジターセンターで情報を確認

## 浄土平ビジターセンター



平成3年の開館以来初のリニューアルをして8月3日に再オープン。展示物を一新し、迫力あるドローン映像も見る事ができる。  
開館期間/4月中旬～11月中旬  
開館時間/午前9時～午後4時  
休館日/11月中旬～翌年4月上旬(スカイライン閉鎖期間)  
入館料/無料  
駐車場/有料(乗用車500円、二輪車200円)  
所在地/福島市土湯温泉町鷲倉山(浄土平)  
URL / <http://www.bes.or.jp/joudo/vc>  
☎0242-64-2105

# 写真でたどる 福島市の110年

福島市は、明治40年に市制を施行し、平成29年4月1日で110周年を迎えました。施行当時の人口は31,835人。その後先人たちのたゆまぬ努力と英知により着実な歩み続け、今や人口29万人を擁する福島県の県都として、政治・経済・教育・文化などあらゆる分野にわたり躍進を続けています。  
ここでは、市制施行から現在までの福島市110年の歩みを写真でたどります。



1995

⑦第50回国民体育大会「ふくしま国体」・第31回全国身体障害者スポーツ大会「うつくしまふくしま大会」



平成7年に開催した「ふくしま国体」。夏季大会では水球競技、秋季大会では総合開会式・閉会式をはじめ、陸上など4競技を開催。第31回全国身体障害者スポーツ大会とともに多くの市民の協力を得て成功裏に終了した。



2011

⑧市役所新庁舎東棟開庁  
平成23年1月開庁。免震構造を採用し、2カ月後に発生した東日本大震災時には災害対策拠点として機能。



⑨東日本大震災

平成23年3月11日午後2時46分、マグニチュード9.0の巨大地震が発生。さらに、東京電力福島第一原子力発電所事故が発生し、甚大な被害をもたらした。市内では震度6弱を観測。発生直後から救援物資などの温かい支援が全国各地から寄せられた。



1907 ①市制施行直後の福島市役所

庁舎は町役場そのままに、表札だけが新しく掛け替えられた（現在の福島第一小学校東隣 昭和18年焼失）。



1982 ⑥東北新幹線開通

昭和57年に東北新幹線（大宮―盛岡間）が開通。福島―上野間は大宮乗り換えを含め2時間10分で走った。上野駅とは昭和60年3月に直結。



2013 ⑩東北六魂祭2013福島

平成25年6月1・2日、東北6県の県庁所在地の祭りが一堂に会し、2日間で約25万人が来場。



1911 ②日本銀行福島支店

東北で初めて設置された日本銀行福島出張所が明治44年に支店に昇格。これを機にルネサンス風の洋風建築に改築（大正2年竣工）。



1959 ⑤磐梯吾妻スカイライン

昭和34年に開通。車の乗り入れが可能になり、雄大なパノラマを觀賞できるようになった。



1918 ③福島競馬場

大正7年6月に完成し、初めての福島競馬が開催された。



1927 ④福島ビルディング（福ビル）

本町に昭和2年10月に完成し、当時の福島のシンボルだった。鉄筋コンクリート3階建ての堂々たる建物と、県内初のエレベーター設置で、連日見物客でにぎわった（昭和19～27年市庁舎としても使用）。



2016 ⑪東北中央自動車道福島JCT～福島大笹生IC間開通

福島JCTから福島大笹生IC間の1.4キロメートルが開通。地域経済の活性化や企業立地促進、スポーツ交流人口拡大などが期待される。

⑫市制施行110周年記念式典

平成29年7月8日に国体記念体育館で市制施行110周年記念式典を開催。1,200人を超える招待者と共に110周年の節目をお祝いした。



市勢の発展に貢献された方々を表彰し、アトラクションとして詩人の和合亮一さんと福島市内で活躍する若手劇団員による詩の群読、小・中学生の皆さんによる合唱などで、今後さらに飛躍していく「ふくしまの姿」を表現。



## 福島市史年表

年号	西暦	おもなできごと
①	明治40年4月	1907 福島市市制施行（戸数5,251戸、人口31,835人、面積8.82km <sup>2</sup> ）
②	明治44年6月	1911 日本銀行福島出張所が福島支店に昇格
③	大正7年6月	1918 福島競馬場完成、第1回福島競馬開催
	大正13年4月	1924 福島飯坂電気軌道（飯坂線）開業
④	昭和2年10月	1927 本町に福島ビルディング（福ビル）落成
	昭和13年6月	1938 市内バス運転開始
	昭和27年10月	1952 第7回国民体育大会が福島で開催
⑤	昭和34年11月	1959 磐梯吾妻スカイライン開通
	昭和35年4月	1960 東北本線上野・福島間電化
	昭和45年4月	1970 国道13号信夫山トンネル開通
	8月	わらじまつり始まる
	昭和48年4月	1973 市民憲章制定 あづま陸橋開通
	昭和50年3月	1975 東北縦貫自動車道開通
	昭和54年4月	1979 名誉市民に古閑裕而氏を推戴
⑥	昭和57年6月	1982 大宮暫定発着で東北新幹線開業 民家園オープン
	8月	小島の森開園
	昭和58年11月	1983 音楽堂オープン
	昭和59年7月	1984 市立図書館オープン
	昭和60年4月	1985 国道115号方木田バイパス開通
	7月	阿武隈急行全線開業
	11月	古閑裕而記念館オープン
	平成元年9月	1989 国道115号土湯トンネル開通
	平成4年4月	1992 バルセイイざが落成
	平成6年5月	1994 国体記念体育館落成
	平成7年6月	1995 福島テルサオープン 四季の里オープン
⑦	平成7年9・10月	1995 第50回国民体育大会「ふくしま国体」開催 第31回全国身体障害者スポーツ大会 「うつくしまふくしま大会」開催
	10月	
	平成10年3月	1998 国道13号福島西道路開通 保健福祉センターオープン
	10月	
	平成15年4月	2003 写真美術館（花の写真館）オープン すりかみ浄水場落成
	6月	
	7月	コラッセふくしま落成
	平成16年1月	2004 国道114号渡利バイパス開通
	平成17年7月	2005 子どもの夢を育む施設「こむこむ」オープン 摺上川ダム竣工
	9月	
	平成19年4月	2007 ダム水本格供給開始 市制施行100周年記念式典開催
	7月	
	平成20年7月	2008 伊達郡飯野町と合併
	平成22年11月	2010 アクティブシニアセンター・アオウゼ（A・O・Z）オープン
⑧	平成23年1月	2011 市役所新庁舎東棟開庁
⑨	3月	東日本大震災（福島市震度6弱） 東京電力福島第一原子力発電所事故発生
⑩	平成25年6月	2013 東北六魂祭2013福島開催
	平成27年7月	2015 パークゴルフ場オープン じよーもびあ宮畑（宮畑遺跡跡公園） 体験学習施設じよもんオープン
	8月	
	平成28年2月	2016 東京都荒川区と友好都市協定締結
⑪	9月	東北中央自動車道福島JCT～ 福島大笹生IC間開通
	平成29年4月	2017 市制施行110周年 「ふくしまの水」モンドセレクション2017 最高金賞受賞（インターナショナルハイ クオリティロフィー受賞）
⑫	7月	市制施行110周年記念式典開催